LACOSTE

LACOSTE WATCHES

ご使用方法、お手入れとメンテナンス、
保証とサービスについて

LACOSTE WATCHES

ラコステはスポーツファッション市場において独自の伝統を築いています。機能および細部に細心の注意を払って製造された防水仕様のラコステ ウォッチ コレクションは、ラコステのスタイルと、世界で最も知られているブランドのロゴであるクロコダイルのトレードマークを反映するシンプルでエレガントなデザインを実現しています。

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

目次

ご使用方法

(1) **2 針・3 針モデル**
(2) **日付／曜日 – 日付付きモデル**
(3) **デュアルタイム モデル タイプ A –** GMT 24 時間針および分針付き
(4) **デュアルタイム モデル タイプ B –** 日付／24 時間針／デュアルタイム付き
(5) **マルチ・アイ モデル タイプ A –** 曜日／日付付き、24 時間針付き／なし、プッシュボタンなし
(6) **マルチ・アイ モデル タイプ B –** 曜日／日付／24 時間針付き
(7) **マルチ・アイ モデル タイプ C –** 24 時間針付き、プッシュボタンなし
(8) **アナログ クロノグラフ タイプ A –** 秒および分カウンター／日付／日付付きまたは日付なし 24 時間針付きクロノグラフ
(9) **アナログ クロノグラフ タイプ B –** 1/10 秒、秒および分カウンター付きクロノグラフ
(10) **アナログ クロノグラフ タイプ C –** 30 分カウンター／日付付きクロノグラフ
(11) **アナログ・デジタル モデル タイプ A –** プッシュボタン付き
(12) **アナログ・デジタル モデル タイプ B –** プッシュボタン付き
(13) **デジタル多機能モデル –** 10 桁 LCD ディスプレイ付き
(14) **自動巻 3 針モデル –** 日付付きまたは日付なし
(15) **APPLE WATCH ストラップ**
(16) **特殊機構**
- ねじ込み式リューズ
- メッシュ ブレスレット スライディング クラスプ
- ソーラー ムーブメント

お手入れとメンテナンスおよび製品の安全性

保証について

サービスの利用

(1) 2 針・3 針モデル

図 A

図 B

図 C

説明

1, 2 – リューズの位置
H – 時針（*ダイヤルの下に回転アワーディスクを配置）
M – 分針
S – 秒針

リューズの位置：
1 の位置 – 通常の位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
2 の位置 – 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

備考：分針を調整する際は、希望の時刻より 4、5 分進めてから分針を戻して正確な時刻に合わせます。

電池切れ予告機能：電池切れが近づくと、秒針は通常の 1 秒間隔ではなく、2 秒間隔で進みます。そのような場合は、電池をできるだけ速やかに新しいものと交換してください。秒針が 2 秒間隔で進んでいる場合でも時計の精度は保たれています。

(2) 日付／曜日付モデル

図 A

図 B

説明

1, 2, 3 – リューズの位置
H – 時針
M – 分針
S – 秒針
K – 日付表示窓
E – 曜日表示窓

リューズの位置：

1 の位置 – 通常の位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
2 の位置 – 日付合わせ：リューズを時計回りに回します。
備考：曜日／日付表示付きモデルの場合：
日付を調整するにはリューズを時計回りに、曜日を調整するには
リューズを反時計回りに回します。
3 の位置 – 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

注意：9:00 PM から 3:00 AM の間は日付の調整を行わないでください。その間に日付の調整を行うと、カレンダー メカニズムを損傷するおそれがあります。

備考：日付合わせ中でも、時計の機能には影響がありません。時計が動いていると、9:00 PM から 3:00 AM の間に日付が少しずつ変わります。

電池切れ予告機能：電池切れが近づくと、秒針は通常の 1 秒間隔ではなく、2 秒間隔で進みます。そのような場合は、電池をできるだけ速やかに新しいものと交換してください。秒針が 2 秒間隔で進んでいる場合でも時計の精度は保たれています。

(3) デュアルタイム モデル – タイプ A

GMT 24 時間針および分針付き

図 A

説明

1, 2 – リューズの位置
A – デュアルタイム設定用プッシュボタン（-1 時間または 1 分）
B – デュアルタイム設定用プッシュボタン（+1 時間または 1 分）
H – 時針
M – 分針
S – 秒針
F – デュアルタイム時針（24 時間）
L – デュアルタイム分針

リューズの位置：
1 の位置 – 通常の位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
2 の位置 – 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

ローカルタイムの時刻は時針 **H**、分針 **M** および秒針 **S** で表示され、センターに配置されているデュアルタイム時針 **F** とデュアルタイム分針 **L** がデュアルタイムの時刻を表示します。

電池交換後、時刻設定前にはデュアルタイム時針 **F** とデュアルタイム分針 **L** が «0»（12 時位置）になっていることを確認してください。デュアルタイム時針 **F** またはデュアルタイム分針 **L** のいずれか、あるいは両方が «0» 位置でない場合は、次の手順にしたがって再設定してください。

1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. プッシュボタン **A** と **B** を同時に 2 秒間以上押してから離します（デュアルタイム針が動き、元の位置に戻ります）。
3. プッシュボタン **A** または **B** を押してデュアルタイム針を «0» 位置に再設定します。
   プッシュボタン **A**：デュアルタイム時針 **F** が時計回りに動きます。
   プッシュボタン **B**：デュアルタイム分針 **L** が時計回りに動きます。
   デュアルタイム針はそれぞれのプッシュボタンを押し続けると連続的に動きます。
4. リューズを 1 の位置に押し込みます。

ローカルタイムの設定：
1. リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

デュアルタイムの設定：
1. 1 の位置のリューズで操作します。
2. プッシュボタン **A** を押して（1 回押すと 1 時間戻ります）デュアルタイム時針 **F** を戻すか、プッシュボタン **B** を押して（1 回押すと 1 時間進みます）デュアルタイム時針を進めます。
3. 秒針 **S** が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出します。
4. プッシュボタン **A** を押して（1 回押すと 1 分戻ります）デュアルタイム分針 **L** を戻すか、プッシュボタン **B** を押して（1 回押すと 1 分進みます）デュアルタイム分針を進めます。
5. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

(4) デュアルタイム モデル – タイプ B

日付／24 時間針／デュアルタイム付き

図 A

説明

1, 2, 3 – リューズの位置
A – デュアルタイム時針設定用プッシュボタン（-1 時間）
B – デュアルタイム時針設定用プッシュボタン（+1 時間）
H – 時針
M – 分針
S – 秒針
F – デュアルタイム時針（24 時間）
J – 24 時間針
K – 日付表示窓

リューズの位置：
1 の位置 – 通常の位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
2 の位置 – 日付合わせ：リューズを時計回りに回します。
3 の位置 – 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

ローカルタイムの時刻は時針 **H**、分針 **M**、秒針 **S** およびセンターに配置されている 24 時間針 **J** で表示され、センターに配置されているデュアルタイム 24 時間針 **F** がデュアルタイムの時刻を表示します。

電池交換後、時刻設定前にはデュアルタイム時針 **F** が «0»（12 時位置）になっていることを確認してください。デュアルタイム時針が «0» 位置でない場合は、次の手順にしたがって再設定してください。

1. リューズを 3 の位置に引き出します。
2. プッシュボタン **A** と **B** を同時に 2 秒間以上押してから離します（デュアルタイム針が動き、元の位置に戻ります）。
3. プッシュボタン **A** と **B** を押してデュアルタイム時針 **F** を «0» 位置に再設定します。
   プッシュボタン **A**：デュアルタイム時針 **F** が反時計回りに動きます（1 回押すと 1 時間戻ります）。
   プッシュボタン **B**：デュアルタイム時針 **F** が時計回りに動きます（1 回押すと 1 時間進みます）。
   デュアルタイム針はそれぞれのプッシュボタンを押し続けると連続的に動きます。
4. リューズを 1 の位置に押し込みます。

ローカルタイムの設定：
1. 秒針 **S** が 12 時位置にきたら、リューズを 3 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。
   *24 時間針 **J** が正しく設定されているかを確認します (AM/PM)。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

備考：24 時間針 **J** は時針 **H** と連動しています。

時差の修正：
別のタイムゾーンに旅行する場合、時刻を現地の時間（ローカルタイム）に変更できます。
1. 1 の位置のリューズで操作します。
2. プッシュボタン **A** または **B** で時刻を調整します。
   プッシュボタン **A**：針が反時計回りに動きます（1 回押すと 1 時間戻ります）。
   プッシュボタン **B**：針が時計回りに動きます（1 回押すと 1 時間進みます）。

日付合わせ：
1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. リューズを時計回りに回して希望の日付を表示させます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

備考：日付を設定する前に、時刻が設定されていることを確認してください。

デュアルタイムの設定：
1. 秒針が 12 時位置にきたら、リューズを 3 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. プッシュボタン **A** または **B** でデュアルタイム **F** を調整します。
   プッシュボタン **A**：デュアルタイム時針 **F** が反時計回りに動きます（1 回押すと 1 時間戻ります）。
   プッシュボタン **B**：デュアルタイム時針 **F** が時計回りに動きます（1 回押すと 1 時間進みます）。
   デュアルタイム針はそれぞれのプッシュボタンを押し続けると連続的に動きます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

注意：日付は午前 0 時に変わります。9:00 PM から 2:00 AM の間は日付の設定を行わないでください。どうしても設定する必要がある場合は、まず時刻をこの範囲外の時刻に設定し、次に日付を設定してから時刻を元に戻します。

(5) マルチ・アイ モデル – タイプ A

曜日／日付付き、24 時間針付き／なし、プッシュボタンなし

図 A

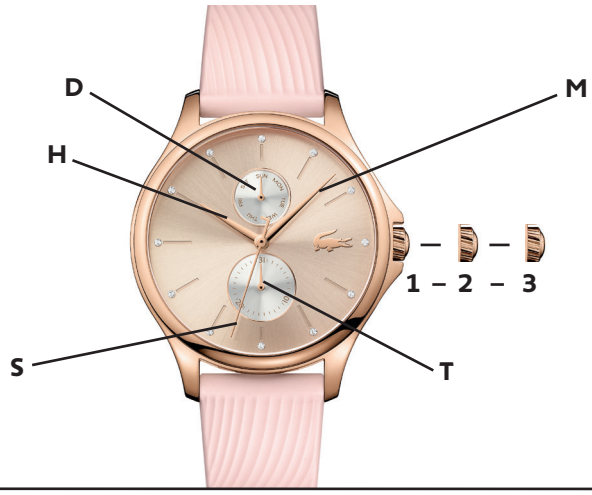


図 B

説明

1, 2, 3 – リューズの位置
H – 時針
M – 分針
S – 秒針
J – 24 時間針
T – 日付表示針
D – 曜日表示針

リューズの位置：
1 の位置 – 通常の位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
2 の位置 – 日付合わせ：リューズを時計回りに回します。
3 の位置 – 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

時刻合わせ：
1. 秒針 **S** が 12 時位置にきたら、リューズを 3 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りに回し、時針 **H** と分針 **M** を進めて曜日表示針 **D** を希望の曜日に合わせます（曜日付きモデルの場合）。曜日表示針 **D** はリューズを反時計回りに回しても戻りません。
3. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。
   *24 時間針 **J** が正しく設定されているかを確認します (AM/PM)。
   *分針を調整する際は、希望の時刻より 4、5 分進めてから分針を戻して正確な時刻に合わせます。
4. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

備考：24 時間針 **J** は時針 **H** と連動しています。

日付合わせ：
1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. リューズを反時計回りに回して日付表示針 **T** を設定します。
   9:00 PM から 2:00 AM の間は日付の設定を行わないでください。日付表示針 **T** はリューズを時計回りに回しても戻りません。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい日付の設定が完了します。

(6) マルチ・アイ モデル – タイプ B

曜日／日付／24 時間針付き

図 A

説明

1, 2 – リューズの位置
A – 曜日設定用プッシュボタン
B – 日付設定用プッシュボタン
H – 時針
M – 分針
S – 秒針
J – 24 時間針
T – 日付表示針
D – 曜日表示針

リューズの位置：
1 の位置 – 通常の位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
2 の位置 – 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

時刻合わせ：
1. 秒針が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を正しい時刻に合わせます。この際、午前と午後を間違えないように注意してください（日付付きモデルの場合）。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

曜日合わせおよび日付合わせ：
1. プッシュボタン **A** を押して曜日を設定します。1 回押して離すたびに曜日表示針 **D** は 1 日進みます。
2. プッシュボタン **B** を押して日付を設定します。1 回押して離すたびに日付表示針 **T** は 1 日進みます。

重要：自動日付変更が作動中の 9:00 PM から 4:00 AM の間は日付の調整を行わないでください。その間に日付の調整を行うと、カレンダー メカニズムを損傷するおそれがあります。
3. 月末が 31 日未満の月の場合、日付の調整を行う必要があります。

(7) マルチ・アイ モデル – タイプ C

24 時間針付き、プッシュボタンなし

図 A

説明

1, 2 – リューズの位置
H – 時針
M – 分針
S – 秒針
J – 24 時間針

リューズの位置：
1 の位置 – 通常の位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
2 の位置 – 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

時刻合わせ：
1. 秒針 **S** が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りに回し、時針 **H** と分針 **M** を進めて針を正しい時刻に合わせます。この際、午前と午後を間違えないように注意してください（日付付きモデルの場合）。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

(8) アナログ クロノグラフ – タイプ A

秒および分カウンター／日付／日付付きまたは日付なし 24 時間針付きクロノグラフ

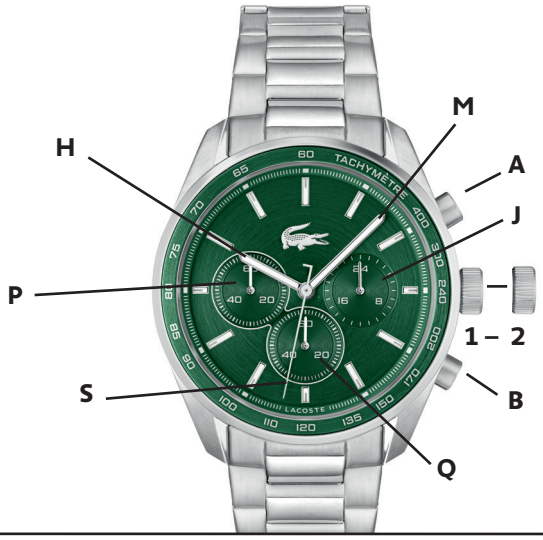


図 A

図 B

説明

1, 2, 3 – リューズの位置
A – スタート／ストップ用プッシュボタン
B – リセット用プッシュボタン
H – 時針
M – 分針
S – 秒針
P – クロノグラフ分カウンター
Q – クロノグラフ秒カウンター
J – 24 時間針
K – 日付表示窓

リューズの位置：

1 の位置 – 通常の位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
2 の位置 – 時刻合わせ（日付機能なしの場合）：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。
日付合わせ（日付機能付きの場合）：リューズを時計回りに回します。
3 の位置 – 時刻合わせ（日付機能付きの場合）：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

時刻合わせ：

1. 秒針 **S** が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出す（日付機能なしの場合）か、3 の位置に引き出します（日付機能付きの場合）。時計が停止します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。
   *この際、午前と午後を間違えないように注意してください（日付付きモデルの場合）。
   *クロノグラフ針が動いてしまうので、プッシュボタンは押さないでください。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

日付合わせ（日付機能付きの場合）：

日付表示窓付きモデルの場合、リューズは 3 段階式です。2 の位置は日付合わせに使用します。

1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. リューズを時計回りに回して日付表示窓 **K** に正しい日付を表示させます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

注意：日付は午前 0 時に変わります。9:00 PM から 2:00 AM の間は日付の設定を行わないでください。どうしても設定する必要がある場合は、まず時刻をこの範囲外の時刻に設定し、次に日付を設定してから時刻を元に戻します。

計測時間はセンターの針とは独立しているクロノグラフ針で表示されます。
クロノグラフは最長 60 分までの時間を計測できます。

シンプルなクロノグラフ機能：

1 つの連続した出来事の時間計測（最長 60 分まで）：

1. プッシュボタン **A** を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン **A** をもう一度押してクロノグラフをストップさせます。
3. プッシュボタン **B** を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

積算時間計測：

途中で何度か中断される出来事の合計時間の計測：

1. プッシュボタン **A** を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン **A** を押して時間計測のタイミングでクロノグラフをストップさせます。
3. プッシュボタン **A** を押してクロノグラフを再スタートさせます。
4. ステップ 2 と 3 を相応の回数、繰り返します。
5. 最終的な読み取りが終わったら、プッシュボタン **B** を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

分割時間計測：

進行中の出来事の中間時間の計測：

1. プッシュボタン **A** を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン **B** を押して一時的にクロノグラフをストップさせ、中間または分割時間を読み取ります。
3. プッシュボタン **B** を押してクロノグラフを再スタートさせます。クロノグラフ針が瞬時にスタート時から経過した時間に追いつきます。
4. 2 と 3 のステップを繰り返し、相応の回数、中間または分割時間を計測します。
5. プッシュボタン **A** を押して時間計測のタイミングでクロノグラフをストップさせます。
6. プッシュボタン **B** を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

(9) アナログ クロノグラフ – タイプ B

1/10 秒、秒および分カウンター付きクロノグラフ

図 A

説明

1, 2, 3 – リューズの位置
A – スタート／ストップ用プッシュボタン
B – リセット用プッシュボタン
H – 時針
M – 分針
S – 秒針
P – クロノグラフ分カウンター
Q – クロノグラフ秒カウンター
X – クロノグラフ 1/10 秒カウンター

リューズの位置：

1 の位置 – 通常の位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
2 の位置 – 時刻合わせ（日付機能なしの場合）：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。
日付合わせ（日付機能付きの場合）：リューズを時計回りに回します。
3 の位置 – 時刻合わせ（日付機能付きの場合）：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

時刻合わせ：

1. 秒針 S が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出す（日付機能なしの場合）か、3 の位置に引き出します（日付機能付きの場合）。時計が停止します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。
*この際、午前と午後を間違えないように注意してください（日付付きモデルの場合）。
*クロノグラフ針が動いてしまうので、プッシュボタンは押さないでください。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

日付合わせ（日付機能付きの場合）：

日付表示窓付きモデルの場合、リューズは 3 段階式です。2 の位置は日付合わせに使用します。

1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. リューズを時計回りに回して正しい日付を表示させます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

計測時間はセンターの針とは独立しているクロノグラフ針で表示されます。
クロノグラフは最長 60 分までの時間を計測できます。
このクロノグラフは 1/10 秒刻みで時間を計測します。

シンプルなクロノグラフ機能：

1 つの連続した出来事の時間計測（最長 60 分まで）：

1. プッシュボタン **A** を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン **A** をもう一度押してクロノグラフをストップさせます。
3. プッシュボタン **B** を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

積算時間計測：

途中で何度か中断される出来事の合計時間の計測：

1. プッシュボタン **A** を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン **A** を押して時間計測のタイミングでクロノグラフをストップさせます。
3. プッシュボタン **A** を押してクロノグラフを再スタートさせます。
4. ステップ 2 と 3 を相応の回数、繰り返します。
5. 最終的な読み取りが終わったら、プッシュボタン **B** を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

分割時間計測：

進行中の出来事の中間時間の計測：

1. プッシュボタン **A** を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン **B** を押して一時的にクロノグラフをストップさせ、中間または分割時間を読み取ります。
3. プッシュボタン **B** を押してクロノグラフを再スタートさせます。クロノグラフ針が瞬時にスタート時から経過した時間に追いつきます。
4. 2 と 3 のステップを繰り返し、相応の回数、中間または分割時間を計測します。
5. プッシュボタン **A** を押して時間計測のタイミングでクロノグラフをストップさせます。
6. プッシュボタン **B** を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

(10) アナログ クロノグラフ – タイプ C

30 分カウンター／日付付きクロノグラフ

図 A

説明

1, 2, 3 – リューズの位置
A – スタート／ストップ用プッシュボタン
B – リセット用プッシュボタン
H – 時針
M – 分針
S – 秒針
P – クロノグラフ分カウンター
K – 日付表示窓

リューズの位置：
1 の位置 – 通常の位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
2 の位置 – 日付合わせ：リューズを時計回りに回します。
3 の位置 – 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

時刻合わせ：
1. リューズを 3 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を正しい時刻に合わせます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

日付合わせ：
1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. リューズを時計回りに回して正しい日付を表示させます。

重要：自動日付変更が作動中の 9:00 PM から 3:00 AM の間は日付の調整を行わないでください。その間に日付の調整を行うと、カレンダー メカニズムを損傷するおそれがあります。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

シンプルなクロノグラフ機能：
1 つの連続した出来事の時間計測：
1. プッシュボタン **A** を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン **A** をもう一度押してクロノグラフをストップさせます。
3. プッシュボタン **B** を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

備考：連続して 2 時間作動させると、クロノグラフは自動的にストップ、リセットされ、電池の消費を節約します。

積算時間計測：
途中で何度か中断される出来事の合計時間の計測：
1. プッシュボタン **A** を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン **A** を押して時間計測のタイミングでクロノグラフをストップさせます。
3. プッシュボタン **A** を押してクロノグラフを再スタートさせます。
4. ステップ 2 と 3 を相応の回数、繰り返します。
5. 最終的な読み取りが終わったら、プッシュボタン **B** を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

分割時間計測：
進行中の出来事の中間時間の計測：
1. プッシュボタン **A** を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン **B** を押して一時的にクロノグラフをストップさせ、中間または分割時間を読み取ります。
3. プッシュボタン **B** を押してクロノグラフを再スタートさせます。クロノグラフ針が瞬時にスタート時から経過した時間に追いつきます。
4. 2 と 3 のステップを繰り返し、相応の回数、中間または分割時間を計測します。
5. プッシュボタン **A** を押して時間計測のタイミングでクロノグラフをストップさせます。
6. プッシュボタン **B** を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

(11) アナログ・デジタル モデル – タイプ A

プッシュボタン付き

図 A

説明

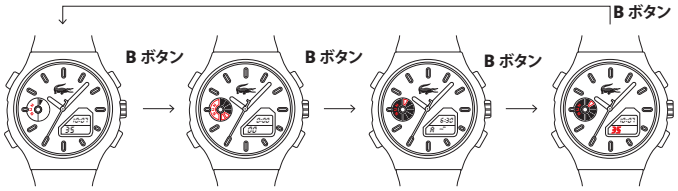
1, 2 – リューズの位置
A – ライト用プッシュボタン
B – モード用プッシュボタン
C – リセット用プッシュボタン
D – スタート／ストップ用プッシュボタン
H – 時針
M – 分針
S – 秒針
V – デジタル日付表示
W – デジタル多機能表示

リューズの位置：
1 の位置 – 通常の位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
2 の位置 – 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

この時計は以下の特徴と機能を備えています。
- 6 デジタル LCD ディスプレイ、時刻および日付表示
- デイリーアラームおよび 1 時間単位のチャイム
- スヌーズ機能
- 選択可能な 12／24 時間表示
- カレンダー
- スプリット機能付き 1/100 秒クロノグラフ
- EL（エレクトロルミネセンス）バックライト

時刻合わせ（アナログ）：
1. 秒針 **S** が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りに回し、時針 **H** と分針 **M** を進めて針を正しい時刻に合わせます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

ご使用方法（デジタル）



備考：どのモードでも、プッシュボタン **A** を押すと EL バックライトが 3 秒間点灯します。

時刻合わせ：
時刻合わせモードにすると、まず「秒」が画面に点滅します。
プッシュボタン **D** を押すと、秒がゼロにリセットされます。

1. プッシュボタン **C** を押して以下の順序で項目を選択します。
秒 > 分 > 時 > 日 > 月 > 週
2. プッシュボタン **D** を押して点滅している数字を調整します。

備考：30 ～ 59 秒の間に秒をリセットすると、時間が 1 分単位で切り上げられます。時刻を設定する場合、「H」は 24 時間表示を表します。「A」と「P」は 12 時間表示を表します (A=AM/P=PM)。

リアルタイムモードの表示：
リアルタイムモードでは、現在時刻が表示されます。
1. プッシュボタン **C** を押してアラームを表示させます。
2. プッシュボタン **D** を押して日付を表示させます。
3. アラームとチャイムを ON/OFF にするには：
   - プッシュボタン **C** と **D** を同時に押してアラーム機能を ON/OFF にします。「ON」の場合、インジケーター "AL/CH" (AL=ALARM / CH=CHIME) が表示されます。
   - プッシュボタン **C** と **B** を押してチャイム機能を ON/OFF にします。「ON」の場合、その週のすべての日が表示されます。

アラームを設定するには：
アラームモードでは、まず「月曜日」(Monday) と「時間」が画面に表示されます。
1. プッシュボタン **C** を押して「時間」と「分」を切り替えます。
2. プッシュボタン **D** を押して点滅している数字を調整します。
3. プッシュボタン **B** を押してこのモードを終了させ、リアルタイムモードに戻します。

備考：アラーム機能を有効にすると、"AL/CH" (AL=ALARM / CH=CHIME) が表示されます。

備考：アラームが作動したら、プッシュボタン **C** を押してアラームを停止するか、プッシュボタン **D** を押して 5 分後にアラームを作動させるスヌーズ機能を有効にします。プッシュボタンが押されない場合、アラームは 1 分後に自動的に停止します。

クロノグラフ機能：
クロノグラフの表示範囲は 23 時、59 分、59.99 秒です。
1. プッシュボタン **D** を押して時間計測をスタートさせます。
2. 単一時間計測：
   - プッシュボタン **D** を押して時間計測をストップさせてからプッシュボタン **C** を押してクロノグラフをゼロにリセットします。
3. 積算時間計測：
   - プッシュボタン **C** を押してスプリット計測を行ってからプッシュボタン **D** を押してスプリット計測をストップさせます。
   - プッシュボタン **C** を押してすべての計測結果を表示させてからプッシュボタン **C** をもう一度押してクロノグラフをゼロにリセットします。
4. 分割時間計測：
   - プッシュボタン **C** を押して中間時間計測を行ってからプッシュボタン **C** をもう一度押して中間時間計測をリリースします。
   - プッシュボタン **D** を押して時間計測をストップさせてプッシュボタン **C** を押してクロノグラフをゼロにリセットします。

備考：クロノグラフ作動時にプッシュボタン **B** を押すと、このモードが終了できます。時間計測はバックグラウンドで継続します。

LACOSTE
WATCHES

LC33 取扱説明書

ラコステウォッチ LC33は、アナログ3針表示とデジタル表示を持ち、時間表示だけでなく、
クロノグラフ計測やアラーム、バックライト表示機能を備えています。
モード変換ボタン(B)で、機能が切り替わり、CボタンとDボタンでそれぞれの設定ができます。

A
バックライト点灯用ボタン

デジタル曜日ディスプレイ表示

B
モード（機能）変換用ボタン

このボタンを押して
*クロノグラフ計測
*アラーム設定
*時間設定

をします

D
クロノグラフ計測の
スタート/ストップボタン

デジタル多機能表示ディスプレイ

C
クロノグラフ計測後等の
リセットボタン

クロノグラフ計測をするには

*Bボタンを１回押します
*デジタルディスプレイが０になります
*Dボタンを押して計測をスタートします
*Dボタンをもう１回押してストップします
*Cボタンでリセットできます

アラームをセットするには

*Bボタンを２回押します
*Dボタンで時をセット、１回押すごとに
時表示を変更できます
*Cボタンで分をセット、Dボタンで分表示
を変更できます

アラームを解除するには

*CボタンとDボタンを同時に押して
解除します

デジタル表示時間＆日付を設定をするには

*Bボタンを３回押します
*Cボタンを押して秒をDボタンで設定
*Cボタンを押して分をDボタンで設定
*Cボタンを押して時をDボタンで設定
*Cボタンを押して日をDボタンで設定
*Cボタンを押して月をDボタンで設定
*Cボタンを押して曜日をDボタンで設定

します

(12) アナログ・デジタル モデル – タイプ B

プッシュボタン付き

図 A

説明

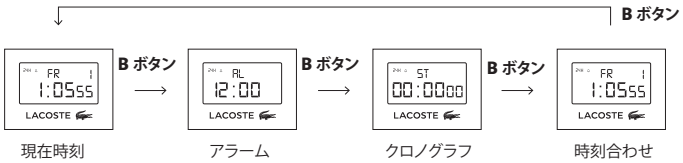
1, 2 – リューズの位置
A – リセット用プッシュボタン
B – モード用プッシュボタン
C – ライト用プッシュボタン
D – スタート／ストップ用プッシュボタン
H – 時針
M – 分針
S – 秒針
W – デジタル多機能表示

リューズの位置：
1 の位置 – 通常の位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
2 の位置 – 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

この時計は以下の特徴と機能を備えています。
• 6 デジタル LCD ディスプレイ、時刻および日付表示
• デイリーアラームおよび 1 時間単位のチャイム
• スヌーズ機能
• 選択可能な 12／24 時間表示
• スプリット機能付き 1/100 秒クロノグラフ
• EL（エレクトロルミネセンス）バックライト

時刻合わせ（アナログ）：
1. 秒針 **S** が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りに回し、時針 **H** と分針 **M** を進めて針を正しい時刻に合わせます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

ご使用方法（デジタル）



備考：どのモードでも、プッシュボタン **C** を押すと EL バックライトが 3 秒間点灯します。

時刻合わせ：
時刻合わせモードにすると、まず「秒」が画面に点滅します。
プッシュボタン **D** を押すと、秒がゼロにリセットされます。

以下の順序で設定シークエンスが切り替わります。
秒 > 分 > 時 > 曜日 > 月
1. プッシュボタン **A** を押して点滅している数字を調整します。

備考：30 ～ 59 秒の間に秒をリセットすると、時間が 1 分単位で切り上げられます。時刻を設定する場合、「H」は 24 時間表示を表します。「A」と「P」は 12 時間表示を表します (A=AM/P=PM)。

リアルタイムモードの表示：
リアルタイムモードでは、現在時刻が表示されます。
1. プッシュボタン **A** を押してアラームを表示させます。
2. プッシュボタン **D** を押して日付を表示させます。
3. 時刻モードでプッシュボタン **A** と **D** を同時に押すと、アラーム機能 ON/OFF に切り替わり、🔔 ON が表示されます。

アラームを設定するには：
1. プッシュボタン **B** を押してアラームモードにすると、「時間」が点滅します。
2. プッシュボタン **A** を押して「時間」または「分」の設定を選択します。
3. プッシュボタン **D** を押して点滅している数字を調整します。
4. プッシュボタン **A** を押して確定します。
5. プッシュボタン **B** を押してこのモードを終了します。

備考：アラーム機能が作動している場合、ベルのアイコン 🔔 が表示されます。

アラームが作動したら、プッシュボタン **A** を押してアラームを停止するか、プッシュボタン **D** を押して 5 分後にアラームを作動させるスヌーズ機能を有効にします。

備考：プッシュボタンが押されない場合、アラームは 1 分後に自動的に停止します。時刻モードで、プッシュボタン **A** を押したままプッシュボタン **D** を押すと、隠しチャイム機能を作動／作動停止できます。

クロノグラフ機能：
1. クロノグラフの表示範囲は 23 時、59 分、59.99 秒です。
2. 時間計測の間隔（単位）は、最初の 30 分間が 0.01 秒、30 分から 24 時間までが 0.1 秒です。
3. プッシュボタン **D** を押して時間計測をスタートさせます。
4. 単一時間計測：
   • プッシュボタン **D** を押して時間計測をストップさせてからプッシュボタン **A** を押してクロノグラフをゼロにリセットします。
5. 積算時間計測：
   • プッシュボタン **A** を押してスプリット計測を行ってからプッシュボタン **D** を押してクロノグラフを再スタートさせます。
   • プッシュボタン **D** を押してからプッシュボタン **A** を押してクロノグラフをストップさせ、ゼロにリセットします。

備考：クロノグラフ作動時にプッシュボタン **B** を押すと、このモードが終了できます。時間計測はバックグラウンドで継続します。

(13) デジタル多機能モデル

10 桁 LCD ディスプレイ付き

図 A

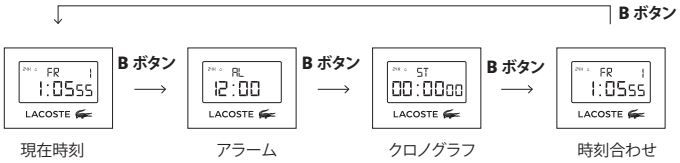
説明

A, B, C – 設定／操作用プッシュボタン
W – デジタル多機能表示

10 桁の LCD ディスプレイ付きのこれらのスポーティなデジタルモデルは、以下の特徴と機能を備えています。

- 12 時間または 24 時間表示形式を選択可能
- 月、日付、曜日付きカレンダー
- デイリーアラームおよび 1 時間単位のチャイム
- スプリット機能付き 1/100 秒クロノグラフ
- EL（エレクトロルミネセンス）バックライト

ご使用方法



備考：どのモードでも、プッシュボタン **A** を押すと EL バックライトが 3 秒間点灯します。

リアルタイムモードの表示：

1. プッシュボタン **C** を押して 12 時間と 24 時間の表示形式を切り替えます。

アラームを設定するには：

1. プッシュボタン **C** を押してアラーム ( ) またはチャイム ( ) を作動／作動停止します。
2. プッシュボタン **A** を押して「時間」または「分」のフィールドを選択します。
3. プッシュボタン **C** を押して点滅している数字を調整します。
4. プッシュボタン **A** を押して確定します。
5. プッシュボタン **B** を押してリアルタイムモードに戻します。

備考：設定した時刻になると、アラームが 20 秒間鳴ります。任意のボタンを押すと、アラームチャイムが停止します。

クロノグラフ機能：

1. クロノグラフの表示範囲は 23 時、59 分、59.99 秒です。
2. プッシュボタン **C** を押して時間計測をスタート／ストップさせます。
3. ストップしたら、プッシュボタン **A** を押してリセットします。
4. 計測中、プッシュボタン **A** を押してスプリット計測を行います。
5. プッシュボタン **C** を押してスプリット計測を終了し、時間計測をストップさせます。プッシュボタン **A** を押して計測時間をすべて表示し、プッシュボタン **A** をもう一度押してリセットします。
6. 計測中、プッシュボタン **B** を押してリアルタイムモードに戻します。時間計測はバックグラウンドで継続します。

時刻合わせ：

時刻設定モードにすると、まず、秒フィールドが画面に点滅します。

1. プッシュボタン **A** を押して以下の順序で次の項目に進みます。

秒 > 分 > 時 > 12/24 時間表示形式 > 月 > 日 > 年

2. プッシュボタン **C** を押して点滅しているフィールドを調整します。

備考：秒フィールドでプッシュボタン **C** を押すと、秒がゼロにリセットされます。秒フィールドのリセットが 30 秒を超えると、1 分単位で切り上げられます。

(14) 自動巻 3 針モデル

日付付きまたは日付なし

図 A

図 B

説明

1, 2, 3 – リューズの位置
H – 時針
M – 分針
S – 秒針
K – 日付表示窓

リューズの位置：

1 の位置 – 通常の位置。リューズがケースに押し込まれた状態。
2 の位置 – 時刻合わせ（日付機能なしの場合）：リューズを時計回りに回します。日付合わせ（日付機能付きの場合）：リューズを時計回りに回します。
3 の位置 – 時刻合わせ（日付機能付きの場合）：リューズを時計回りに回します。

時刻合わせ：

1. リューズを 2 の位置（日付機能なしの場合）または 3 の位置（日付機能付きの場合）に引き出すと、時計が停止します。
2. リューズを時計回りに回して針を正しい時刻に合わせます。
3. 分針 **M** を設定する時刻の 1 分先にセットします。
4. 秒針 **S** の位置を確認します。デジタルクロック（ステップ 3 で設定した分に相当する次の分）の秒数と同じになったら、リューズを 1 の位置に押し込みます。

日付合わせ（日付機能付きの場合）：

日付表示窓付きモデルの場合、リューズは 3 段階式です。2 の位置は日付合わせに使用します。

1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. リューズを時計回りに回して日付表示窓 **K** に正しい日付を表示させます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

重要：時刻を設定するときは時計を手首から外してください。そうしないと、内部の部品が損傷し、リューズが緩む可能性があります。

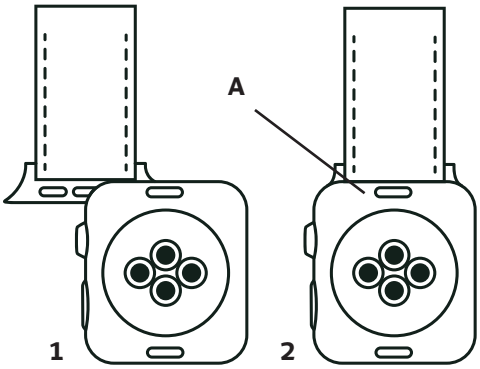
重要：リューズは必ず時計回りに回してください。そうしないと、メカニズムが損傷します。正しい時刻に設定し損ねた場合は、リューズを時計回りに回し続け、正しい時刻になるまで上記の手順を繰り返します。

重要：10:00 PM から 2:00 AM の間は日付の設定を行わないでください。行うと、時計のムーブメントを損傷する可能性があります。

備考：しばらく着用していなかった場合は、時計が作動していることを確認してください。時計を巻き上げるには、時計を前後に軽く傾けてローターを動かします。

備考：時刻の設定後、秒針の動きが遅い、または動かない場合は、Lacoste Watches 認定サービスセンターで時計の点検を受けることをお勧めします。

(15) APPLE WATCH ストラップ



APPLE WATCH と互換性があります

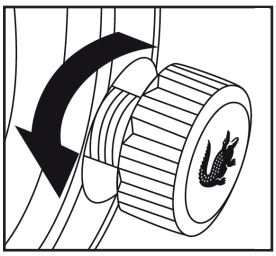
ラコステの APPLE WATCH ストラップは、簡単に取り付けることができます。

1. APPLE WATCH を反転させ、ストラップをケースにはめ込みます。ケースに正しくセットされると、かすかなクリック音がします。
2. 取り外すには、**A** を押し下げ、ストラップを外側にスライドさせます。

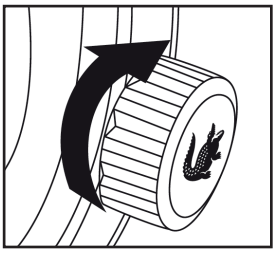
APPLE WATCH は、米国およびその他の国で登録された APPLE INC. の商標です。

(16) 特殊機構

ねじ込み式リューズ



A



B

いくつかのモデルはケースの防水性を高める特殊なねじ込み式リューズを備えています。時刻または日付の設定の前には、まずリューズを反時計回りに回して（約 6 回）リューズを緩め、ねじ込み式リューズのロックを解除する必要があります。標準的なリューズの場合は、ロック解除の必要はありません。

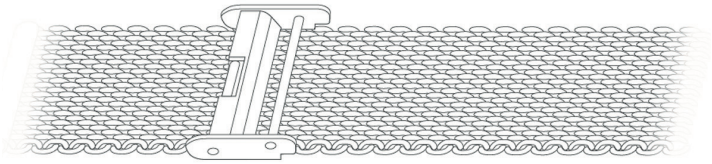
A. リューズのロック解除：
リューズを反時計回り（左）に回してリューズのねじ込みを解除します。

B. 時刻／日付合わせ後のリューズの再ロック：
リューズを時計回り（右）に回してリューズを押し込み、しっかり締め直します。

(16) 特殊機構

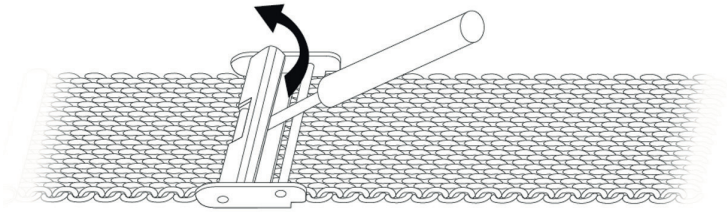
メッシュ ブレスレット スライディング クラスプ

特定のモデルのメッシュ ブレスレットには、クラスプのピンバー ハーフをちょうどよいフィット感になるまでブレスレットに沿ってスライドさせてブレスレットのサイズ調整が行えるフッキング ジュエリー クラスプが付いています。

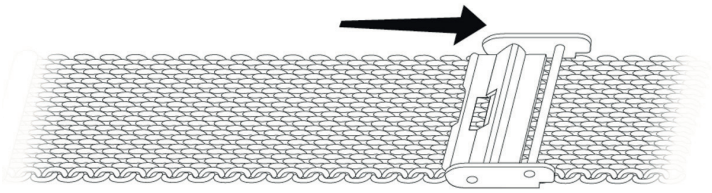


上図：所定の位置に固定されたスライディング クラスプのピンバー ハーフ付きメッシュ ブレスレット側を開きます。

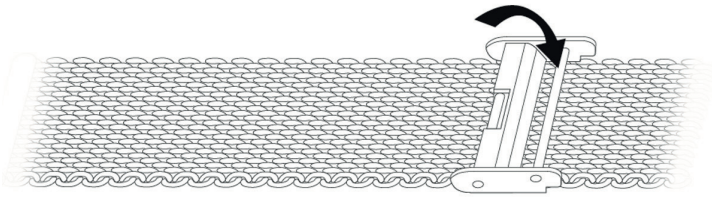
ブレスレットのサイズ調整：



1. 小型のマイナスドライバーなどでクラスプのピンバー ハーフのメタル プレートを開き、クラスプ位置固定メカニズムをリリースします。



2. クラスプのピンバー ハーフをメッシュ ブレスレットに沿って、いずれかの方向にスライドさせて希望の位置にします。



3. メタル プレートを閉じてクラスプのピンバー ハーフをブレスレット上の新たな位置に固定します。

(16) 特殊機構

ソーラー ムーブメント

ソーラー駆動時計
お買い上げの時計はダイヤルの下にあらゆる光を電気エネルギーに変換し、動力を補助バッテリーに蓄積するソーラー セルを備えています。

電池交換
従来のクォーツ ウォッチとは異なり、お買い上げの時計は酸化銀電池を使用しないので、電池交換の必要はありません。

作動時間
フル充電から停止までの予測される作動時間は約 4 ヶ月です（その間、光を一切当てないと仮定する）。

電池切れ予告機能
電池切れが近づくと、秒針は 2 秒間隔で進みます。
そこから時計は約 2 週間動き続けます。

警告
使用する時計に専用の充電式セル以外のバッテリーを使用しないでください。充電式セルを時計から取り外さないでください。充電式セルを普通ごみと一緒に廃棄しないでください。バッテリーの回収については、お住まいの地域の指示に従ってください。
時計を高温にさらさないでください。

充電時間の指示ガイダンス

光の供給 (Lx)	光源	環境	フル充電（およその時間）	定常作動（およその時間）	1 日分の動力（およその分）
700	蛍光灯	室内	-	18	69
3000	蛍光灯	30W 20cm	52	4	15
10000	日光	曇天	16	1.5	5
100000	日光	晴天	5.3	0.5	2

バッテリーの表示および持続時間
プッシュボタン B を 1 秒以上押すと、2 秒後に針は自動的に戻ります。

バッテリー レベル	パワーリザーブ
高（イエロー）	90 日以上
中（オレンジ）	30 ～ 90 日
低（レッド）	30 日以下

お手入れとメンテナンスおよび製品の安全性

ラコステ ウォッチは品質、機能および細部に細心の注意を払って製造されています。お買い上げの時計の特徴、正しいお手入れおよび操作について、次の情報と手順を注意深くお読みください。サービスや修理の詳細については、「サービスおよび保証」のセクションをご参照ください。

時計をご自分で開けないでください。時計の修理または調整が必要な場合は、時計を直接、Lacoste Watches 認定サービスセンターにご持参いただくか、またはお送りください。世界中のサービスセンターのリストについては、www.mgiservice.com にアクセスして情報をご確認ください。

衝撃
当社のすべての時計は国際規格に適合する耐衝撃性を備えたムーブメントを使用しています。

アルミニウム
アルミニウムは耐久性に優れ、変色したり錆びたりしませんが、傷がつきやすい素材です。アルミニウム製アイテムの色落ちを防ぎ、ジュエリーを大切にできるように、腐食性の化学物質は避け、他のジュエリーや時計と一緒に着用しないようにしてください。アルミニウム製アイテムをメンテナンスするには、柔らかい布で定期的にそっと拭いてお手入れすることをお勧めします。

磁気
時計を強い磁気にさらすと、時計の機能に影響を与え、時計が停止することがあります。クォーツ時計は磁気から離れると、元の精度で動き始めるはずですが、自動巻きまたは手巻きの時計は消磁が必要となる場合があります。

防水性
当社のすべての時計は国際規格に適合し、少なくとも 3 気圧／ 30 メートル／ 99 フィートまでの防水仕様です。したがってケース、リューズ、ガスケットおよびクリスタルが無傷である限り、洗顔による水滴や小雨によって損傷を受けることはありません。5 bar (5ATM/50M/165 feet) 防水とマークされた時計は、シャワーや水泳時に着用することはできますが、スキューバダイビング時には着用できません。10 bar (10ATM/100M/328 feet) 防水とマークされた時計は、シャワーや水泳、スキューバ ダイビング時に着用できます。これらの表示は潜水深度に対応するものではなく、国際防水基準を満たすために必要なテストでかけられた圧力を指します。

注意：防水性についてマークされていない時計は、3 bar (3 ATM/30M/99 feet) を超える圧力／深さにさらさないでください。そうしないと、時計が損傷する可能性があり、保証が無効になります。

重要：時計のリューズ、あるいはクロノグラフまたは多機能モデルのプッシュボタンを水中で操作しないでください。水中で操作すると、防水性が保てなくなります。ねじ込み式リューズを備えた時計の場合は、あらゆる操作後にリューズがケースにねじ込まれていることを確認してください。

備考：ラコステ ウォッチは、不適切な取り扱いに起因する漏れや、ケース、リューズ、ガスケット、クリスタルの損傷によって引き起こされた、またはそれに関連した損害については責任を負いません。

防水性は時計のケースにのみ適用されています。いくつかの時計のストラップは水中で着用したり、水に濡らしたりしないでください。**ストラップのお手入れ**をご参照ください。

時計をできる限り適切にお手入れするには、プールや海で使用した後は、真水で湿らせた柔らかい布で時計を丁寧に拭いてください。時計を急激で極端な温度変化にさらさないでください。時計を落下させたり、硬いものにぶつけないでください。強い衝撃を受けた場合は、防水性を再点検する必要があります。

防水性を維持するには年に一度のメンテナンスが必要です。ケースを密閉しているガスケットとリューズは、普通に使用していても磨耗、劣化します。これらの部品は、電池交換などのサービスのために時計を開けるたびに検査し、必要に応じて交換する必要があります。

Lacoste Watches 認定サービスセンターでは、すべてのサービスオーダーにおいて、ルーティンステップとして自動的に防水性の再検査を行っています。

お手入れとメンテナンスおよび製品の安全性

ストラップのお手入れ
時計のストラップの寿命は、お手入れ、着用状態、さらにお住まいの地域の気候に左右されますが、正しいお手入れをすることによって、その寿命を延ばすことが可能です。

レザーストラップは乾燥した状態に保ってください。水に濡らすと、レザーストラップは劣化したり、場合によると破損することがあります。レザーの仕上げを保護するには、香水との接触を避けてください。プールや海で使用した後は、真水で湿らせた柔らかい布でレザーストラップを丁寧に拭き、乾かしてください。

シリコンまたはラバーストラップの自然な弾力性と品質を保護するには、海水、化学物質または研磨性物質と接触した後は、真水で湿らせた柔らかい布ですすいでください。

温かい中性の石鹸水で湿らせた柔らかい布でホワイト シリコンまたはラバーストラップを丁寧に拭いた後、温水に浸した 2 枚目の清潔な布で拭くか、温かい流水で慎重にすすいでください。アセトンやエチルアルコールと接触させないでください。

備考：時計のストラップは保証の対象とはなりません。

製品の安全性
この製品は、安全に使用できるように設計されています。ご使用中に気になる点や安全上の問題が発生した場合は、次のいずれかの方法でお問い合わせください。

E メール：customercare-us@mgiluxury.com
電話：1-800-810-2311

小さな部品：Lacoste watches は玩具ではありません。小さな部品が含まれている場合があり、窒息の危険があります。子供用製品については必ず年齢制限を確認し従ってください。すべての製品は小さなお子様やペットの手の届かないところに保管してください。

電池について
クォーツ アナログ ウォッチまたはクロノグラフには専用に設計された電池が付いています。電池寿命は通常およそ 18 ヶ月から 36 ヶ月です。

備考：クロノグラフ モデルのストップウォッチ機能などの特殊機能を頻繁に使用すると、電池寿命が短くなることがあります。

電池切れ予告機能：多くのモデルでは、電池の寿命が近づくと、秒針が 2 秒間隔で進み、電池を交換するよう知らせてくれます。

電池交換：電池交換の際には、時計を Lacoste Watches 認定サービスセンターにお持ちいただくか、またはお送りください。古い電池は適切に廃棄またはリサイクルされます。決してご自分で電池交換をなさらないでください。

寿命の尽きたクォーツ ウォッチの回収と廃棄 *
本製品は家庭ゴミと一緒に廃棄することはできません。環境と人々の健康を保護するため、本製品は地域の認定回収センターに託し、適切にリサイクルする必要があります。

*EU 加盟国および相応の法律のある国において有効。

保証について

保証について

ラコステ ウォッチはデザイン的に美しいだけではなく、高精度と信頼性の高い性能をもたらす上質な素材と部品を使用して製造されています。当社では販売しているすべてのラコステ ウォッチに誇りを持っています。

Lacoste Watches 限定保証
Lacoste Watches はお客様に対し、通常使用下での時計の正常な機能を妨げるお買い上げの時計の素材および製造上の欠陥について、ご購入日から 2 年間の保証を適用します。

本保証が対象とする欠陥についての当社の責任は、修理または（Lacoste Watches の自由裁量のみにおいて）無償での欠陥のある時計の交換に限られています。

電池、ストラップ、ブレスレット、クリスタル、ゴールドプレーティングまたはイオンプレーティングまたは PVD コーティング、すり傷、通常の磨耗、亀裂といった外観上の問題、事故、誤った使用、あらゆる変質に由来する損傷、Lacoste Watches 認定サービスセンター以外の第三者によるサービスまたは修理による結果は本保証の対象とはなりません。

本保証は、有効な購入証明（販売店名、ラコステ ウォッチのモデル番号を示す日付の付いた販売またはギフトのレシート）によって証明される Lacoste Watches 認定販売店での購入以外の方法で購入された時計には適用されません。

販売店が提供するその他の保証については、販売店がその責任を負います。本保証の条件を変更することはいかなる個人または企業にも許可されていません。本保証は消費者としての特定の法的権利を付与します。お客様の法的権利は国ごとまたは州ごとに異なる場合があります。しかしながら、適用法が許可する範囲で、本限定保証は口頭による、書面によるを問わず、法的、明示的、あるいは暗黙的な他のあらゆる保証（制限なく市場性に関する保証、特定目的適合性を含む）に独占的に代わるものとして適用され、他のあらゆる保証は明確に無効となります。

サービスの利用

保証内サービス
保証サービスが必要な場合は、時計を適切に梱包し（下記を参照）、(1) 販売レシートの原本 (2) Lacoste Watches サービス リクエスト フォームのコピーを添付して最寄りの Lacoste Watches サービスセンターにお送りください。認定サービスセンターのリストは当社のウェブサイトでご確認いただけます。Lacoste Watches サービス ホームページに戻り、「保証とサービスについて」のリンクをクリックしてください。

保証外サービス
Lacoste Watches サービスセンターは Lacoste Watches 保証の対象ではない修理、保証期間が終了した後のサービスも実施します。時計の部品が必要な場合・保証外サービスで対象となっていないサービスが必要な場合は、作業をお引き受けする前にお客様の承認とお支払いのための見積り書を送付します。このファイルのフォームをコピーして使用してください。

電池交換
Lacoste Watches サービスセンターはラコステ ウォッチの電池交換も有償で行います。

時計の梱包
時計は衝撃から保護できるよう詰め物をした梱包材で必ず梱包してください。必要事項を記入した Lacoste Watches サービス リクエスト フォームのコピーを必ず添付してください。

時計についての保険
書留の郵便を使用し、時計に同等金額の保険をかけることをお勧めします。

追加情報
製品とともに送付される、販売店名、ラコステ ウォッチのモデル番号を示すオリジナルの日付の付いた購入またはギフトのレシートのないすべての修理は課金され、修理は保証条件の対象となります。
認定サービス センターの場所を確認するには、www.mgiservice.com/lacoste のリンクをクリックしてください。

LACOSTE WATCHES サービス リクエスト フォーム

氏名 _____

住所 _____

市区町村 _____

都道府県 _____ 国 _____ ZIP/郵便コード _____

E メール _____ 電話 (_____)_____

ウォッチ モデル _____

サービス、交換または修理を必要とする内容： _____

_____

_____

_____

_____

_____

_____

_____

_____